

◎パチスロ黄門ちゃまV

2015年1月導入の「パチスロ黄門ちゃま喝」の後継機で、AT機から、A+ART機となって登場する本機。前作の最強特化ゾーン「家康降臨」を継承した「家康再臨」や、おなじみのパチンコ演出「初代モード」など、「黄門ちゃま」らしさを残しつつ、新たな演出も多数搭載しています。

A+ART（純増約0.8枚/G）機。ART終了時は、約16%で「連続回胴小説お銀さん」へ。ART継続確定となる上乗せ特化ゾーンで、平均90Gを獲得できます。



© C.A.L./2018

5.9号機に「再臨」

本機は、A+ART機で、ベースは50枚あたり約30G、コイン単価は約2.7～3円。ボーナス確率は1/168.9～132.7、ART初当たり確率は1/567.3～499.2。出玉率は97.6～109.1%です。

■通常時+チャンスゾーン

通常時は、レア役で有利区間への移行を抽選し、有利区間中のボーナスをメイン契機にARTを目指します。

右下がりにはリプレイがそろろうと、チャンスゾーン（CZ）に突入。CZは2種類あり、一つはART当選期待度約80%で、上乗せ特化ゾーンを複数個ストックする可能性が高い「MITO6」。もう一つはART当選が確定し、上乗せ特化ゾーンを3個以上ストックする期待の持てる「初代モード」です。

■ボーナス

本機のボーナスは、3種類。

同じ色の7図柄が三つそろう「同色BB」は、獲得枚数が約284枚。右リールのみ違う色の7図柄がそろう「異色BB」は、最大獲得枚数が232枚で、平均獲得枚数が185枚。RBは、最大獲得枚数が59枚となっています。

さらに、各ボーナスに、ARTや上乗せ特化ゾーンストックの期待度が異なるバージョンを用意。

「同色BB」は、ART期待度約66%の「変幻自在ボーナス」と、ARTが

確定し、さらに、上乗せ特化ゾーンのストックにも期待できる「綱吉公御乱心」。「異色BB」は、ART期待度約30%の「ビッグボーナス」と、ARTが確定する「かげろうお銀BONUS」。RBは、非有利区間の「レギュラーボーナス」と、ART確定の「麻呂レギュラーボーナス」です。

■ART

ART（純増約0.8枚/G）は、上乗せ特化ゾーンの振り分け演出「ハンマープライス」からスタート。前作で好評だった選択式を採用しており、今作では「寡欲」か「強欲」のどちらかを選ぶ形に。「寡欲」と「強欲」で、「家康再臨」「お銀LOんVE」「変幻乗せ」「上乗せ」という、4種類ある上乗せ特化ゾーンの当選比率を違えています。

前作最強の上乗せ特化ゾーン「家康降臨」を継承した「家康再臨」は、最低保証ゲーム数が200G（前作は100G）で、平均250G。1セット4Gでループ率管理（最高継続率80%）の「お銀LOんVE」は、平均120G。最低保証ゲーム数が40Gの「変幻乗せ」は、平均60G。「上乗せ」だと、「寡欲」選択時は最低30G、「強欲」選択時は同20Gとなります。

また、「ハンマープライス」にはレベルが1～3まで存在。レベルにより、

移行する特化ゾーンの比率が異なります。ART初当たり時は、必ずレベル2となり、寡欲選択時の「家康再臨」期待度は10%、強欲だと同38%です。

なお、レベル3の「ハンマープライス」は、どちらを選んでも100%で「家康再臨」が確定します。

今でも現役で活躍しているパチスロの後継機ですが、これまで登場した5.9号機の稼働状況などに鑑みると、稼働貢献に対する懸念の声が上がっても仕方ないところ。

ただ、本機は、「ハンマープライス」での「家康再臨」への振り分けも低くなく、平均上乗せゲーム数も多いため、有利区間完走を体感しやすくなっています。ボーナス確率も高いので、最近の機械の中では、期待の1台といえるでしょう。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して12年。業界歴は28年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。